

2. 計画の区域

本計画の対象区域は、市全域とします。

3. 計画の期間

計画期間は、令和2年度～令和6年度とします。

4. 計画の目標

取組の方向性それぞれについて、本計画における目標を設定しました。

取組の方向性	評価指標	目標値		備考
		現状値 (令和元年度)	目標 (令和6年度)	
すべての人にやさしい公共交通網の形成	①市営バスの免許返納者割引・障がい者割引の利用割合	32%	38%	年に1%ずつ増加
	②啓発活動の実施件数	1件/年	8件/年	6月、9月、12月、3月に広報、HPにて実施
	③市内行事での公共交通利用促進告知回数	1回/年	5回/年	糸満ハーレー、糸満大綱引き、糸満ふるさと祭り、糸満フェア、平和トリムマラソンにて実施
地域特性と移動需要に応じた多様な移動交通手段の整備	④市内公共交通網の再編	-	実施	
まちづくりと整合性のとれた公共交通の形成と活性化	⑤真栄里地区区画整理事業の都市計画手続き	-	事業着手	
	⑥シンボルロード周辺市街地整備事業の都市計画手続き	-	事業着手	
市の活力向上及び持続的発展に資する公共交通の整備	⑦空港直行バスの運行	-	運行実施	
	⑧市内主要拠点を繋ぐコミュニティバスの運行	-	運行実施	
地域、事業者、行政の協働による、効率的で持続可能な公共交通の実現	⑨市職員の公共交通通勤者数	8人/年	20人/年	年に2名ずつ増加
	⑩ブーゲンビレア号協力事業者数	2者	3者	現在より1者増加
	⑪市営バスの収支率	16.5%	増加	
	⑫補助対象市内線と市営バス運行に対する行政負担額	35,963千円/年	減額	
	⑬補助対象市内線と市営バス運行の利用者数	29,491人/年	増加	